

# 手話学習発表会

～手話で絵本の読み聞かせ～

高校 2年 学校設定科目

「手話言語基礎1」

資料の活用(絵本)

ねらい

- 1年間の手話学習の成果を発表することができる。
- 手話での読み聞かせに適した絵本を選ぶことができる。
- 観客に上手に伝わるように手話表現できる。

## 学習展開 . . . . .

- ① 1年間の手話学習のまとめとして学習発表会を開く。
- ② 3～4人のグループに分かれ、手話を使った発表をする。(読み聞かせ、手話歌、手話ダンスなど)
- ③ 絵本の読み聞かせをする3グループは、図書館で絵本を選ぶ。
- ④ 授業担当者、手話普及支援員、学校司書の助言を得ながら読み聞かせの練習をする。
- ⑤ クラスの生徒や校内職員の前で発表する。



手話で読み聞かせをする生徒

## ◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書は授業担当者と事前に打ち合わせを行い、資料を準備する。
- 学校司書と司書教諭は図書館での絵本選びを支援する。
- 学校司書は絵本の持ち方・発声など技術面で生徒を支援する。

## ★指導のポイント

- ◆ 県立図書館のブックリストを参考にしながら、手話表現のしやすさや発表時間を考慮して10冊程度の絵本を用意しておく。

## 資料

『わゴムはどのくらいのびるかしら』/マイク・サーラー (ほるぷ出版)  
『あおくとときいろちゃん』/レオ・レオニ (至光社)  
『はなをくんくん』/ルース・クラウス(福音館書店) など10冊程度の絵本  
参考: 県立図書館 手話で楽しむおはなし会プログラム、読み聞かせブックリスト